

民主島根

2023年
8.27
第1431号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

米国・財界いなり正す共産党大きく 「原発ゼロ」の松江、日本を

大平衆院が松江で宣伝、出雲で集い



宣伝する大平（中央）と（左へ）むらほ各氏ら（松江市）



真ん中世代と交流する大平氏（左から3人目）（出雲市）

日本共産党の大平よしの衆院中国ブロック比例予定候補は19日、松江、出雲の両市で街頭宣伝や集いなどに取り組みました。松江市では、むらほえりこ衆院島根1区予定候補、尾村利成県議、舟木健治、橋ふみ両市議、上代善雄県委員長、岩田剛東部地区委員長と宣伝しました。大平氏は、中国電力と関西電力が山口県上関町で共同開発をめざす原発の使用済み核燃料の中間貯蔵施設にふれ、「核のごみの処理方法は未確立で核燃料サイクルは破綻している。核のごみを増やす原発の再稼働は許さず、原発ゼロの松江、日本を一緒につくりよう」と呼びかけました。むらほ氏は、アメリカい

いなりで大軍拡を進め、財界いなりでマイナンプーカードを推進する岸田政権について「アメリカ・財界いなり」の2つのゆがみを正す日本共産党を大きくして政治を変えよう」と訴えました。大平氏は、出雲市では約20人が集った「真ん中世代の交流会」に参加しました。参加者は、マイナンバー問題や給食費無償化の

署名活動、支部会議開催に向けた努力などについて交流しました。大平氏は「できることかから一つひとつ始め、みんなと力を合わせて勝利を勝ち取りたい」と述べました。後藤由美、吉井安見の両市議らと「まちかど演説」も行い、駆けつけた約30人の聴衆が声援と激励を送りました。

原発・核燃料サイクルから撤退を

むらほ氏、党県議団らが県に要求

日本共産党県議団（尾村利成団長、大國陽介幹事長）は9日、県に原発・核燃料サイクル政策からの撤退を申し入れました。（写真）中国電力が山口県上関町に対し、使用済み核燃料

の中間貯蔵施設建設の調査・検討を表明（2日）、島根原発1号機の廃炉の完了時期が当初の2045年度より4年遅れるとして「廃止措置計画変更に係る事前了解願」を島根県に提出（8日）したことを



日本共産党の中国5県の真ん中世代の地方議員と大平よしの衆院中国比例予定候補らが7月28日、政府に安心して子どもを育てられる医療・保育・福祉の諸制度の改善や教育費の負担軽減など子育て支援の拡

子育て支援拡充を 真ん中世代の負担軽く 大平氏・中国地方議員が政府要請

充を要請しました。（写真）大平氏と各県の代表が上京し、島根からは、むらほえりこ衆院1区予定候補が参加しました。大学などの授業料の引き下げを求め、「学生は学費を稼ぐためにバイト漬けで命と生活を削る状況だ」と実態を告発。また、安心して子育てできる働き方に向けて、男女の賃金格差の解消や長時間労働を是正する実効性ある政策などを求めました。

摘。「原発稼働を続ける限り、処理方法のない核のごみが増え続ける。原発推進路線の行き詰まりは明らかだ」と述べました。申し入れでは、▽六ヶ所村再処理工場を廃止し、上関町での中間貯蔵施設建設計画の撤回▽島根原発2号機の再稼働・プルサーマル計画への同意撤回などを要求。伊藤徹防災部長は、核燃料サイクル政策について「国が責任を持って解決すべき課題であり、進捗状況を注視していく」と答えました。むらほえりこ衆院島根1区予定候補、舟木健治、橋ふみ両松江市議、吉井安見・出雲市議が同席しました。

鼓動

「言葉の力」については、これまでも様々な定義がされ、筆者自身も自分なりの見解をもっているつもりだが、それでもなお、思うことがある。それは、自分の発した言葉は、発した時点で、それを受け止める誰かのものとなるという「怖さ」である▼「そういう意味ではない」と、弁明できる余地があればいいが、SNSが発達し、自分の思いが自由に発信できるようになった今、誤解されるリスクは増大していると言えらる▼あえて誤解されるように言葉を操り、その「誤解」を利用して相手を思い通りに動かす―特殊詐欺はその最たるものであり、嘘や騙す行為は、残念ながら巷に溢れている。これは、用いる人間自身の在りようで言葉は善にも悪にも転じうるといふ表れであり、「言葉の力」はどう發揮させようべきものなのかを思わされる▼終戦記念日に、戦時下のアナウンサーを描いたNHKドラマが放映された。主人公を演じた俳優は「言葉は、真実も伝えるが偽りも伝える」と印象的なコメントをした。これは言葉の力で戦意高揚を煽ったメディアの犯罪性への言及でもあり、演じたが故の実感だろう。劇中の「虫眼鏡で見て、望遠鏡で話す」も示唆に富む▼今、国のリーダーの言葉が違和感でしなくなっている。戦没者追悼式での「平和国家としてその歩みを進めてきた」の首相式辞の一節然り。岸田首相に問う。「貴方のこの言葉は真実か否か。『虫眼鏡』で検証されるべきではないか」と。（江）